

上島町消防だより

あれから10年

岩城村山林火災

3月9日(木) 午後1時頃、長江原より出火した山火事は、おりからの強風にあおられてその被害を拡大。一時は積善山山頂付近まで燃え広がり、岩城島の面積の約五分の一にあたる142ヘクタールを焼失するという未曾有の大災害となった。

※平成7年4月の広報いわきより



10年前、旧岩城村で発生した山林火災は、剪定ガラ焼却の為のたき火が付近の枯れ草に燃え広がり、強風にあおられ火災はまたたく間に延焼拡大しました。



▲激しい延焼状況
(積善山林道より)



▲発生間もない延焼状況
(長江港沖より)

岩城村山林火災動員状況 (延べ人数)

機 関 名	人 員	機 関 名	人 員
島部消防本部	179人	自 衛 隊	52人
因島消防本部	55人	伯 方 警 察 署	64人
今治消防本部	4人	愛 媛 県	15人
岩城村消防団	545人	岩 城 村 役 場	136人
弓削町消防団	199人	企 業 (土 木)	26人
生名村消防団	145人	中 国 電 力	30人
魚島村消防団	29人	N T T	56人
伯方町消防団	47人	消 防 協 力 者	97人
因島市消防団	50人	合 計	1,729人

この火災にかかる消火活動には、右表の他に、各種団体及び役場の女性スタッフが、炊き出しなどで奮闘し後方支援を行いました。

多くの機関とその人員を要し、火災は発生から7日後の16日に鎮火することができました。

この火災では、民家への延焼を事前に食い止められたこと、活動中の軽傷者が1名ですんだこと、そして、積善山の3千本のサクラの大半が無事であったことが不幸中の幸いであり、地域住民の協力と消防機関等の連携による、懸命な消火活動の結果でありました。

春の火災予防運動

(3月1日～3月7日)

火は消した？

いつも心に

きいてみて

(平成16年度全国統一防火標語)

春先は風の強い日が多く、空気が非常に乾燥し、火災の起こりやすい季節となります。

10年前の岩城村山林火災を上島町の教訓とし、皆さん一人ひとりが考え、たき火等による火災の発生を防ぎましょう。

また、上島町発足後に3件の住宅火災が発生し、3名の尊い命がうばわれました。

今一度、家庭内の防火診断を行い、危険と思う箇所があれば、すぐに改善しましょう。

特に、電気器具のタコ足配線やコンセントのホコリ、配線の傷みや重い物での押さえつけは、火災の原因となりますので、よく点検して下さい。

そして、万一の火災から命を守るための、避難方法について十分に考えておきましょう。

まずは予防、そして対策を！





農業講座

しまなみ普及室だより じょうずな菜園計画 (輪作について考えよう)

冬野菜の収穫も終わり、そろそろ夏野菜の栽培計画をお考えの方もおられると思います(チョット気が早いですが…)。今回は、野菜畑の利用の参考にさせていただきたく「輪作」について解説します。「〇〇さんと同じようにトマトを植えたのにウチのはひとつも大きならんのよ。」こんなことはありませんか。「肥料や水をやっても、枯れたり生育が悪かったり…」このような方は、去年と同じ場所に植えていませんか。同じ作物を連続して栽培すると作物により病気や生育が極端に悪い場合があります。これを専門家の間では「連作障害」といい、作物により極端に連作を嫌うものと、そうでないものがあります(表1参考)。

表1 野菜の連作制限の目安

連作制限の程度	作物名
連作しても害はない	ダイコン、ニンジン、たまねぎ、こまつな、かぶ
1年間は別の作物を作る	ホウレンソウ、シュンギク、ネギ、レタス
2年間は別の作物を作る	キュウリ、ハクサイ、キャベツ、いちご
3年以上は別の作物を作る	マメ類、さといも、トマト、なす、ゴボウ、ジャガイモ、ピーマン

注意) 連作制限はあくまでも目安ですので絶対に育たないという訳でもありません。

■連作障害対策

① 輪作 異なる種類の作物を栽培すること。

同じ種類の作物を栽培すると病害が発生しやすくなったり、植物が作る有害物質により作物が育ちにくくなる場合(アレロパシー作用)があります。

② 土作り 良質な堆肥を施用し土の中の有用な微生物を増やす。

堆肥は有用な微生物のエサとなり微生物が増えると、病気の菌の増加を抑える作用(静菌作用)が期待されます。(人でいう食物繊維をとると腸内に善玉菌が増える働きと同じ)

③ 土の深耕 堆肥の施用と同時に土の中に空気をいれて排水、通気性を向上させる。

土が軟らかくなり、空気と水持ちを向上させ根の張りを良くする働きがあります。

■野菜の作付け例(輪作例)

作付け例	野菜の組み合わせ例(夏—冬—夏—冬)
葉・実もの野菜を主体	① トマト(ピーマン) — キャベツ — きゅうり — ハクサイ ② きゅうり — ハクサイ — ジャガイモ — ネギ
根・葉もの野菜を主体	① ニンジン — エダマメ — ダイコン — サツマイモ ② レタス — ホウレンソウ — キュウリ — ダイコン

キャベツ・ハクサイなどのアブラナ科野菜とレタス、ニンジン、ダイズの組み合わせ、トマト、きゅうりとトウモロコシが立ち枯れ病に効果がある。

■早春に作付ける野菜のワンポイント

① ジャガイモ(春)

- ★ 土壌酸度が高いと「そうか病」が発生しやすいので、石灰類の多用は控える。
- ★ 肥料は種いもに直接当たらないように、いもの間に間土をいれて肥料を置く。
- ★ 5月頃に雨が多いと疫病(葉、茎が黒く枯れる)が多くなるので、早めに防除。
- ★ 茎の整理、土寄せをしっかりと行う。

② 3月にまきつけ可能な野菜

- ★ **ダイコン** 彼岸過ぎれば、トウ立ちしにくい品種(天宝、おはる、時無しなど)を蒔くことが出来る。(注)秋品種は絶対にまかないこと。
- ★ **夏どりニンジン(洋ニンジン)** 3月下旬頃からまきつけて7月に収穫できる。
- ★ **ネギ類** 3月後半から種まきが可能。葉ねぎ、根深ねぎ(移植が必要)。
- ★ **アスパラガス(春まき)** 種からの場合は3月下旬頃が適期です。(移植(秋に定植)、直播きとも可能です)

